

第24回 全国街路事業コンクール

優 秀 賞

石川県中能登土木総合事務所 都市計画道路 府中七尾駅線 街路事業

都 市 名	七尾市	事業主体	石川県
事業概要			
府中七尾駅線は、能登の玄関口である七尾駅と七尾の観光拠点の一つである七尾港を結ぶ重要な路線であるが、歩道がないことなどから沿道の商店街の賑わいが薄れつつあり、中心市街地の活性化が課題となっていた。そのため、当該道路を駅と港という二つの核をつなぐ都心軸シンボルロードと位置づけ整備することにより、交通混雑の解消、歩行者の安全確保と回遊性の向上、賑わい空間の創出により市街地の活性化を図るとともに、七尾市への誘客拡大につなげることを目的とした。歩行者の安全確保と賑わい空間創出に寄与するため、沿道アクセス性を高める停車帯、ゆとりある歩道空間、無電柱化による街なみ景観の向上、街路樹による緑化など、ゆとりと潤いのある街路空間整備を実施した。明るい色調の歩道舗装やガス灯をイメージした街路灯など「明るい和風の港町」をコンセプトに事業を進め、七尾らしい街路空間の創出に成功した。また、住民参加による沿道建築物の景観誘導や道路緑化のほか、定期市の開催など賑わい創出が図られている。			
○事業延長：607m（Ⅰ期（平成6年度～平成16年度）424m、Ⅱ期（平成16年度～平成22年度）183m） ○事業費：約65億円			
○幅員：20m（車道3.0m×2、停車帯1.5m×2、歩道5.5m×2） ○事業期間：平成6年度～平成22年度			
表彰理由			
御祓川と一体的に整備されたせせらぎ空間が高く評価された。親水空間として適切な幅員の歩行空間と、異なるデザインの橋により、行事の際にシンボリックな空間となることが期待される。地元住民が、街づくり協議会を主体的に設けたり、沿道緑化の取り組みを精力的に実施したりするなど、街づくりに対する意識が高く、七尾の更なる活性化が期待される。			



広々とした歩行空間、沿道緑化の試み



街路事業と連携した街づくり
(景観ルール、デザイン検討)

